

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 01新設工事費

事務事業番号 01010101

事業名		H30年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
新設事業		129,516 千円	29,117 千円	91,655 千円	千円	8,744 千円
上下水道部水道整備課						
根拠法令	水道法					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	給水区域内未給水区域の解消を行い、水道水利用率の向上を図ります。 災害時応急給水拠点の配置計画に則して、緊急貯水槽を設置し、応急給水体制の充実を図ります。					
事業の必要性	給水区域内未給水地区の市民要望に対し、水道管を布設します。 また、市民にとって他に代替の無いライフラインとして重要な役割を担っているため、非常時でも可能な限り給水できるよう、様々なリスクに配慮した対策を進める必要があります。					
事業の内容	1 配水管の新設 錦岡地区、植苗地区に新たに水道管を布設しました。 2 緊急貯水槽の整備 常時清潔な飲料水を貯留する機能を有した、緊急貯水槽を避難所に指定されている明野小学校へ設置しました。					
						
		【新たに布設した水道管】		【緊急貯水槽設置】		
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (H30年度決算額)	129,516 千円	担当正規職員	千円	人		
		嘱託職員	千円	人		
人件費	千円	再任用 (フル)	千円	人		
		再任用 (ハーフ)	千円	人		
総 計	129,516 千円	任期付職員	千円	人		
		臨時職員	千円	人		
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	H30年度	H29年度	H28年度
	給水普及率		%	99.9	99.9	99.9
	緊急貯水槽整備率		%	70.6	64.7	58.8
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
自己評価の理由	応急給水対策の充実は住民不安を取り除く効果も大きく、事業の有効性と効率性は高いと評価しています。					
事業の課題、今後の方向性等	緊急貯水槽については、他の災害対策事業とのバランスに配慮しながら整備を継続します。 また、設置した貯水槽を災害時に有効利用できるように、市民周知や職員の応急給水訓練等の取り組みを継続的に実施します。					
特記事項	コスト欄の事業費に人件費は含まれています。					

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 02改良工事費

事務事業番号 01010202

事業名		H30年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
改良事業		1,259,960 千円	185,875 千円	981,545 千円	千円	92,540 千円
上下水道部水道整備課						
根拠法令	水道法					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	老朽化した管路は、管路内の錆などにより濁水が発生しやすくなるほか、耐震性も低く、地震被害を受けやすいため、耐震化することにより、使用者の方へ安定した給水が図れます。また、水道施設の耐震化を図ることで、地震被害を最小限に抑制し、災害発生時においても、継続的に配水できる水道システムを構築します。					
事業の必要性	水道は、市民生活や産業活動において、必要不可欠なライフラインであり、たとえ短時間の断水であってもその影響は大きいものです。 水道施設の更新や耐震化は、その施設の機能向上を目的として行われ、安定的な水の供給といったユーザーニーズへ対応するために必要な事業です。					
事業の内容	1 老朽管更新事業 糸井地区、日吉町、見山町、啓北町、浜町、寿町、泉町、新中野町、末広町、美園町、入船町、船見町、明野新町、晴海町、沼ノ端地区、東開町、植苗地区、高丘地区の老朽化が進んだ管路を新しい管路に更新しました。 2 水道施設の耐震化 耐震化診断によって、耐震性が低いと判断された錦多峰取水場沈砂池の耐震化を行いました。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>【推進工法による管布設】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【沈砂池耐震補強化】</p> </div> </div>					
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (H30年度決算額)	1,259,960 千円	担当正規職員	千円	人		
人件費	千円	嘱託職員	千円	人		
		再任用(フル)	千円	人		
総計	1,259,960 千円	再任用(ハーフ)	千円	人		
		任期付職員	千円	人		
		臨時職員	千円	人		
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	H30年度	H29年度	H28年度
	老朽水道管の更新率		%	85.2	82.3	79.9
	水道施設の耐震化率		%	84.2	81.6	73.7
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
自己評価の理由	水道水は常に安定供給することがとても重要であり、老朽管更新及び水道施設の耐震化は、事業の有効性・効率性ともに高いものであると評価しています。					
事業の課題、今後の方向性等	管路の更新には多額の費用を要し、年間の更新延長にも限りがあるため、重要な管路を優先的に更新するなど、効率的な事業実施をする必要があります。 施設の耐震化についても、災害時の安定給水には必要な事業であり、耐震化計画に沿った事業展開をしていきます。					
特記事項	コスト欄の事業費に人件費は含まれています。					

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 03量水器施設費

事務事業番号 01010303

事業名		H30年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
量水器施設事業		308,124 千円	千円	千円	千円	308,124 千円
上下水道部水道管理課						
根拠法令	計量法及び同法施行令、苫小牧市水道事業給水条例及び同条例施行規則					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	水道使用者への料金請求時に、根拠となる使用量を計量するため、計量法で定められた期間内に水道メーターを取替えるための工事費及びその際に使用する検定有効期間が満了となる水道メーター（以下「検満メーター」という。）と、家屋新築時に貸与する新設メーターの購入費です。					
事業の必要性	計量法に基づく検定満期内（有効期間8年）の水道メーターの取替えは、法令上、水道事業者の義務であり、また事業運営的にも、正確な使用量の計測は必要なことです。					
事業の内容	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>1 検満メーター取替工事 (定期的なメーターの取替え)</p>  <p>【作業状況】</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>2 メーター購入費 (必要なメーターの購入)</p>  <p>【購入メーター】</p> </div> </div>					
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (H30年度決算額)	308,124 千円	担当正規職員	千円	人		
人件費	千円	嘱託職員	千円	人		
総 計	308,124 千円	再任用 (フル)	千円	人		
		再任用 (ハーフ)	千円	人		
		任期付職員	千円	人		
		臨時職員	千円	人		
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	H30年度	H29年度	H28年度
	検満メーター取替工事		箇所	10,205	11,065	11,446
	検満メーター購入数		個	10,205	11,065	11,446
	新設メーター購入数		個	1,174	1,261	1,397
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
自己評価の理由	当事業は、お客様から頂く料金を正確に算定し、水道事業経営に必要な収益を得る、経営上の根幹ともいえる重要な事業であります。このため定期的な取替えは、事業の有効性・効率性ともに高いものであると評価しています。					
事業の課題、今後の方向性等	水道事業の経営が安定して継続できるよう、個別事業コストの管理、見直しを行ってまいります。					
特記事項	コスト欄の事業費に人件費は含まれておりません。					

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 06固定資産取得費

事務事業番号 01010604

事業名		H30年度 (決算額)	財 源 内 訳																										
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源																							
固定資産整備		4,357 千円	千円	千円	千円	4,357 千円																							
上下水道部水道管理課																													
根拠法令																													
実施方法 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金																													
事業の目的・対象		安全な水道水を供給するために必要な浄水装置及び水質分析機器、並びに水道工事等に伴う放水量を正確に計測する機器の購入費用です。																											
事業の必要性		安全な水道水の供給及び正確な放水量の計測に必要な機器・装置の整備は、事業運営において重要かつ不可欠なものです。																											
事業の内容		1 落射蛍光顕微鏡 1台  2 ガスロマトグラフ質量分析計 1台  3 予備次亜注入装置 1台  4 電磁式水道メーター 1台 																											
コスト		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">職員構成</th> <th colspan="2">人件費</th> </tr> <tr> <th>概算人件費 (平均給与×従事職員数)</th> <th>従事職員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>担当正規職員</td> <td>千円</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>嘱託職員</td> <td>千円</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>再任用 (フル)</td> <td>千円</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>再任用 (ハーフ)</td> <td>千円</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>任期付職員</td> <td>千円</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>臨時職員</td> <td>千円</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>					職員構成	人件費		概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数	担当正規職員	千円	人	嘱託職員	千円	人	再任用 (フル)	千円	人	再任用 (ハーフ)	千円	人	任期付職員	千円	人	臨時職員	千円	人
職員構成	人件費																												
	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数																											
担当正規職員	千円	人																											
嘱託職員	千円	人																											
再任用 (フル)	千円	人																											
再任用 (ハーフ)	千円	人																											
任期付職員	千円	人																											
臨時職員	千円	人																											
事業費 (H30年度決算額)	4,357 千円																												
人件費	千円																												
総計	4,357 千円																												
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	H29年度	H28年度																								
	機器・装置の購入	台	4																										
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低																											
	事業の効率性（費用対効果）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低																											
自己評価の理由	当事業は、水道水の安全性を一層高め、将来にわたり市民が安心しておいしく飲める水道水を安定的に供給するために必要なものであり、事業の有効性・効率性ともに高いものであると評価しています。																												
事業の課題、今後の方向性等	水道水を安定的に供給するため、今後も計画的に更新していきます。																												
特記事項																													